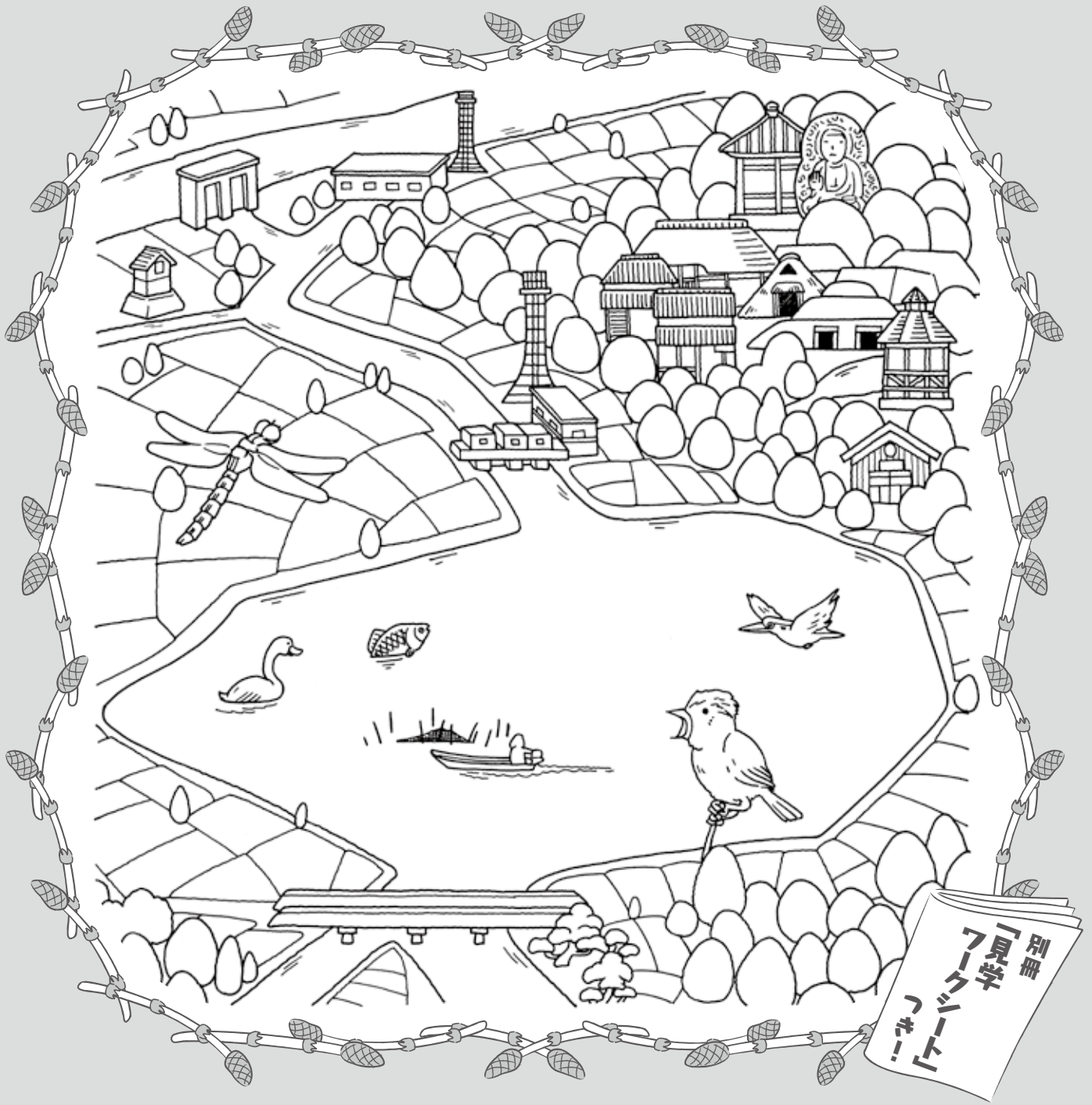


社会科見学 見どころ集

房総のむら

& 昆虫館・坂田ヶ池・利根川・印旛沼



体験博物館 千葉県立 房総のむら

千葉県印旛郡栄町龍角寺1028

<http://www2.chiba-muse.or.jp/MURA/>

房総のむら

検索

本書の使い方

1. 本書は、先生方への房総のむら及び周辺施設の案内書です。コピーして、児童生徒の教材としてもご利用ください。
2. 別冊の見学ワークシートは、見学予定場所の設問を組み合わせ、コピーしてご利用ください。
3. 見学に際しては、事前に各施設にお申し込みください。
4. 本書の内容については、千葉県立房総のむらへお問い合わせください。

モデルルート

昔の暮らし探検ルート

午前 房総のむら



午後 印旛水門
出津河川防災ステーション

里山探検ルート

午前 房総のむら



午後 坂田ヶ池総合公園
昆虫館・蝶の生態館

歴史探検ルート

午前 房総のむら



午後 龍角寺古墳群
龍角寺

目次

本書の使い方・施設案内	2
見学のポイント1《商家町なみ》商家の工夫をさがそう	4
見学のポイント2《商家町なみ》職人の技にふれよう	6
見学のポイント3《農家など》農家のくらしをしらべよう	8
見学のポイント4《武家屋敷》武士のくらしをしらべよう	10
見学のポイント5《坂田ヶ池・昆虫館など》里山の自然を楽しもう	11
見学のポイント6《風土記の丘など》遺跡から歴史をさがろう	12
見学のポイント7《印旛水門など》 利根川・印旛沼の大水と治水を学ぼう	14
見学ワークシート	

マップ



房総のむら周辺は、
いろいろ見所
まんさいだよ。

「昔の暮らしと技」さがしの体験博物館 千葉県立 房総のむら

<http://www2.chiba-muse.or.jp/MURA/>

〒270-1506 千葉県印旛郡栄町龍角寺1028 ☎0476-95-3333 ☎0476-95-3330

開館時間 ☀ 午前9時～午後4時30分 ※雨天時の昼食場所あり

休館日 ☀ 月曜日（祝・休日の場合はその翌日）、年末年始、臨時休館日

入場料 ☀ 個人：一般300円 高・大学生150円 中学生以下と65歳以上無料
団体（20名以上）：一般240円 高・大学生120円

※千葉県内学校には減免制度があります

駐車場 ☀ 大型バスも駐車可

交通案内 ☀ JR成田線安食駅から竜角寺台車庫行きバス約10分、房総のむら下車徒歩3分

JR成田線成田駅西口から竜角寺台車庫行きバス約20分、竜角寺台2丁目下車徒歩約10分

東関東自動車道成田ICから成田・安食方面へ直進約10km



里山の中にある
体験博物館
だよ。





利根川水防活動の基地 **出津河川防災ステーション**

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonege/dedu/index.htm>

千葉県印旛郡栄町出津地先

見学申込先 国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所調査課
〒287-8510 千葉県香取市佐原イ4149 ☎0478-52-6366

駐車場 Ⓢ 大型バスも駐車可

交通案内 Ⓢ 国道356号線バイパスの長門川に架かる「ふじみ橋」より我孫子方面右側すぐ



水防活動や利根川について学ぶことができるよ。

印旛沼を大水から守る **印旛水門・印旛機場**

<http://www.water.go.jp/kanto/chiba/index.html>

千葉県印旛郡栄町和田字外下耕地176

見学申込先 独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所 〒276-0028 千葉県八千代市村上3139
☎047-483-0722 ☎047-483-0709



※ただし、ご案内は原則として大和田機場（八千代市）での見学となります

駐車場 Ⓢ 進入路を含めて、事前打合せをお願いします

交通案内 Ⓢ 国道356号線バイパスの長門川に架かる「ふじみ橋」より佐原方面左側すぐ

利根川と印旛沼がつながっている所にあるわ。



水と緑ゆたかな自然公園 **坂田ヶ池総合公園**

<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/koen/std0018.html>

森の遊び場やジャンボスライタ－もあるよ。



〒286-0841 千葉県成田市大竹1450
坂田ヶ池総合公園管理事務所
☎0476-29-1161 ☎0476-29-1162

駐車場 Ⓢ 大型バスも駐車可

交通案内 Ⓢ JR成田線下総松崎駅より徒歩約15分
房総のむらより徒歩約15分



高校生と一緒に地域の生物について観察・調査・学習のできる

昆虫館・蝶の生態館・ふれあい動物園

<http://www.chiba-c.ed.jp/naritaseiryo-h/>

〒286-0846 千葉県成田市松崎20 千葉県立成田西陵高等学校 ☎0476-26-8111 ☎0476-26-7093

開館日 Ⓢ 4月～9月の第4土曜日（一般公開）

※学校団体は事前予約により平日の見学が可能です。ただし、学校長の承認の上、教員の引率された団体であること

開館時間 Ⓢ 午前10時～午後3時

入場料 Ⓢ 無料

駐車場 Ⓢ 普通車25台、大型車1台

交通案内 Ⓢ JR成田線下総松崎駅より徒歩約15分
房総のむらより徒歩約25分

主な動物 Ⓢ ヤギ、ウサギ、シマリス、ハムスター、
ギニアピッグ、カブトムシ、クワガタムシ、チョウ etc.



高校生の
お兄さん、お姉さんが、
昆虫や動物について
アドバイスして
くれるわ。



ぼうそう しょう か まち
房総のむら 《商家町なみ》

しょう か く ふう

商家の工夫をさがそう

え ど じ だ い こ う き め い じ じ だ い し ょ き さ い げ ん
江戸時代後期から明治時代初期の町なみを再現しています。

げ ん ざ い し ょ う て ん が い
現在の商店街とくらべながら、

し ょ う ば い ど う く し ょ う ひ ん
商売道具や商品を守るための工夫をさがしてみよう。

ごふく みせ
呉服の店

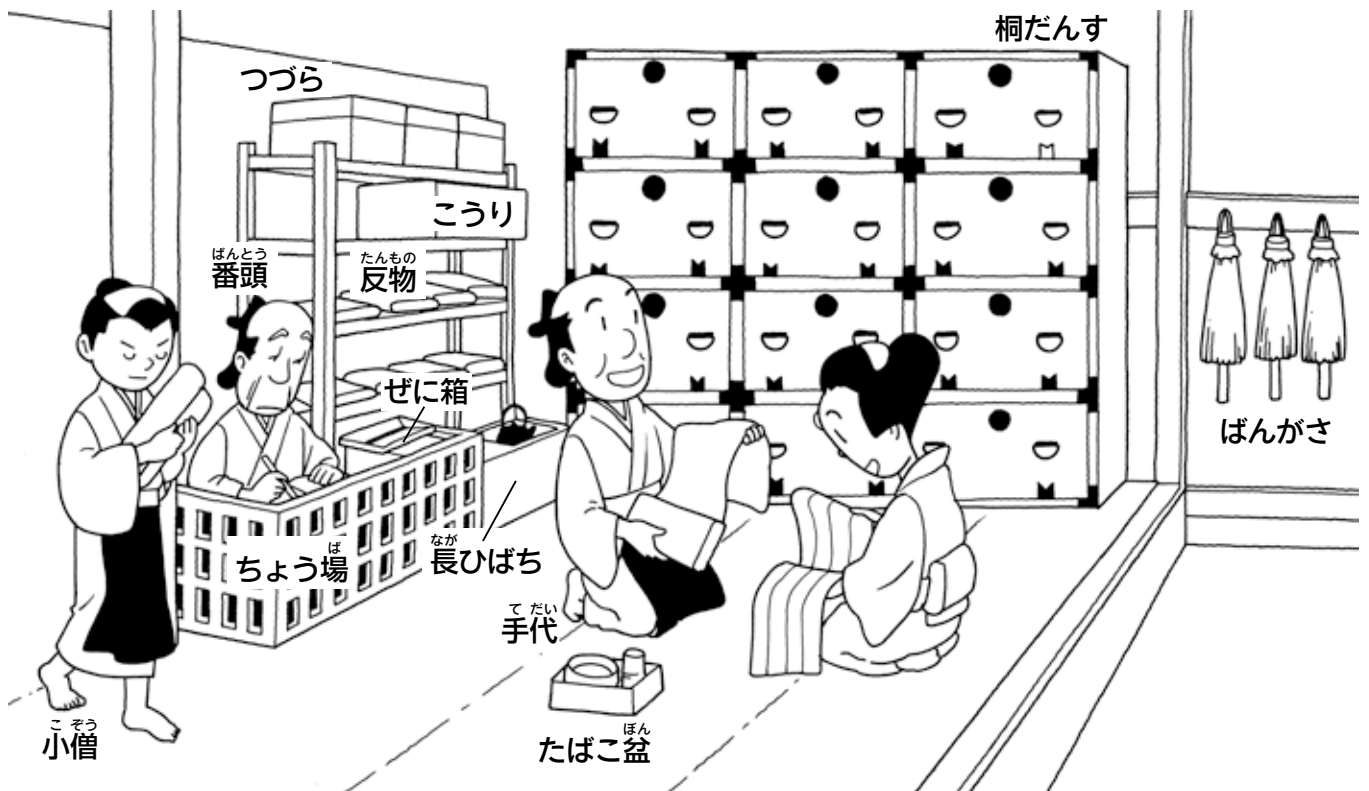


つかべておおわれ、かわら
土かべておおわれ、瓦がふかれた火に
つよ たてもの か し たいせつ
強い建物です。火事から大切な商品
まも
守っています。

たみ
店の中は畳がしかれているよ。
商品はどこにあるんだろう？

きやく あ て だ い ほ
お客さんは畳に上がって、手代さんに欲しいものを
ちゅうもん
注文します。気に入りそうな商品を小僧さんが運ん
こぞう
できて、えらんでもらいます。こうした商売を「座売
り」といいます。

たんもの きもの きぬ めの こうか
商品の反物（着物にする絹などの布）は高価だった
ので、奥の蔵や棚、桐たんすの中にしまっていました。
おく くら たな きり
今のお店とくらべてみよう。



ち ょ う ば ぼ ん とう
ちょう場には、番頭さんがすわって、そろばんで計算したり、帳簿をつけたりしました。昔は、
あと
後でまとめてお金を受け取る「掛け売り」も多く、誰に何をどれだけ売ったかを「大福帳」に筆
だ い ふ く ち ょ う ふ て
で書きとめました。



しりべよう

建物の工夫をさがそう



お店入口の内側を見上げてみよう。板戸がしまわれているよ。夜は、この板戸をおろして戸まりをします。

階段の下が物入れになっています。



いろいろな形の看板があるよ

ものしりコーナー



昔は字が読めない人も多かったから、看板を商品の形にしたんだよ。



「うどん」「そばきり」と書いた看板の下に、うどん・そばの形に切った布がついているよ。



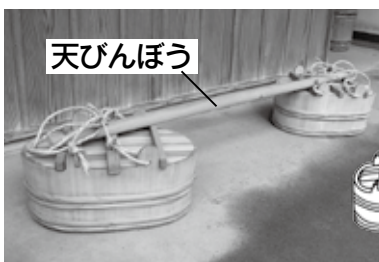
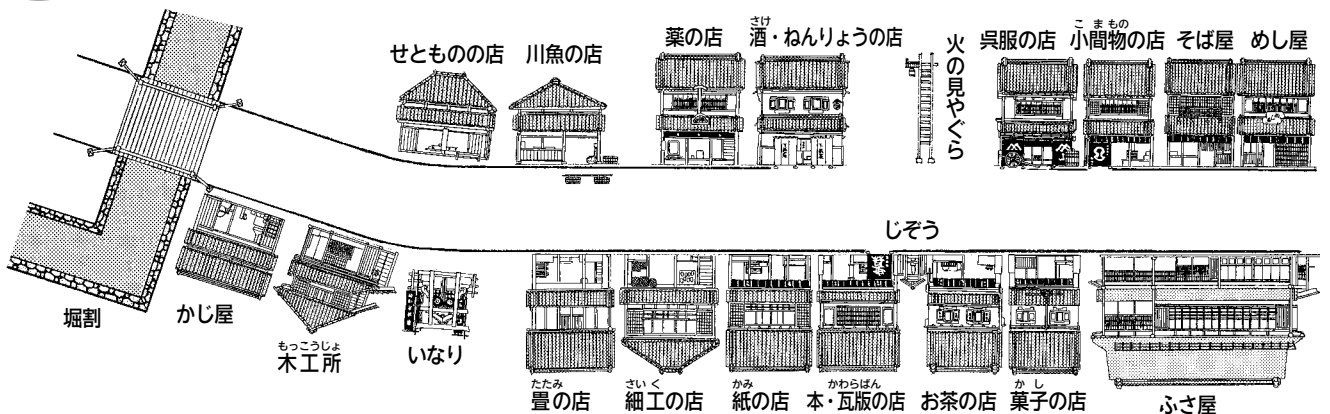
昔の薬袋の形をした看板だよ。薬の店だね。

窓のうら側に商品名が書かれているよ。お茶の店だね。



しりべよう

いろいろな商売道具をさがしてみよう



品物を入れた桶やかごをかつぐための「天びんぼう」です。手で持つより、肩でかつぐほうが楽なんだ。



ほかには、どんな工夫があるのかしら。

ぼうそう しょう かまち
房総のむら 《商家町なみ》

職人の技にふれよう

えどじだい しゅこうぎょう
江戸時代は、職人による手工業もさかんになりました。

たけ かみ てつ しぜん ざいりょう
木や竹、紙、鉄、土など自然の材料から、

しなもの さぎょうば
よい品物を作った職人の作業場や、

かいてん ししつ
2階展示室から、職人の技をそうぞうしてみよう。

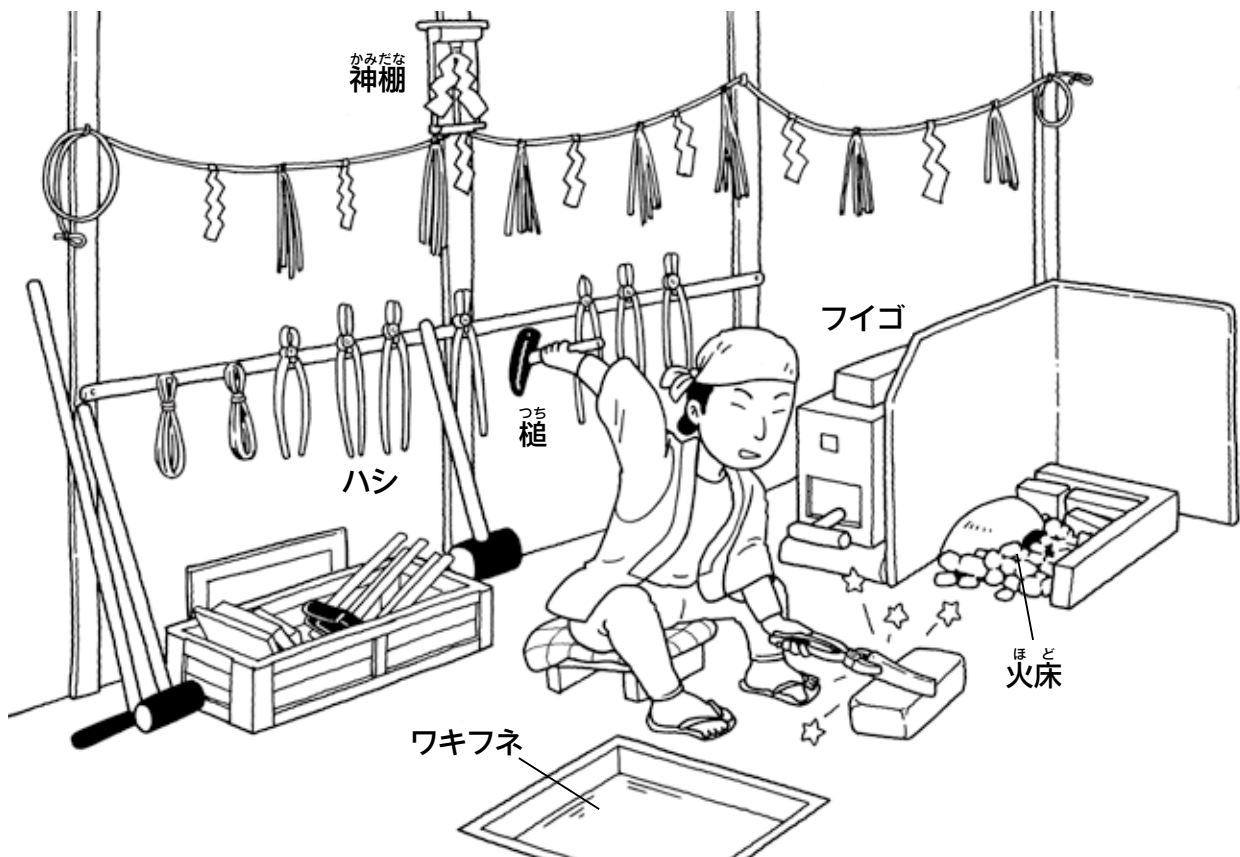
かじや
鍛冶屋



のうく せいかつどうぐ さい
鉄の農具や生活道具を作る鍛冶屋を再
現しています。注文におうじて、お客さ
んが使いやすい形に作りました。

鉄を加工するには、 どんな道具を使うのかな？

こうおん ねつ お
鉄を高温で熱して加工します。ファイゴの取っ手を押
したり引いたりして、ほど すみび くうき おく
したり引いたりして、火床の炭火に空気を送り、高温
にします。あつ 鉄をはさむハシや、たたく槌など、同
じ機能でも大きさがちが 違う多くの道具を使います。
そのほかにも、ま か や はがね ひ かた
「焼き入れ」に使う水を入れたワキフネなど、それぞ
れが使いやすい位置に配置されています。



鍛冶職人は火をあがめ、感謝し、仕事の安全をいのって、作業場の神棚にしめ縄をはり、鍛冶屋の神様をまつっています。旧暦の11月8日はファイゴまつりをします。



たいけんしよう

ペーパーナイフを作ってみよう



フイゴで空気を送って、鉄を真っ赤にやきます。



熱くした鉄を槌でたたいて形を作ります。



ヤスリで形をととのえます。



できあがり

小4以上が対しようだよ。事前に実施日などをしらべておこう。



紙を漉く道具をさがそう

しりべよう



紙の店には漉槽という大きな水槽があります。ここに材料の楮という木の皮や、オクラ科のトロロアオイの根からとったネリを水にまぜて、けたす桁と簾を使って紙を漉きます。まわりには、材料を水にまぜるまぐわや、紙をはってかわかず干し板があります。



つぎ次は紙の店に行ってみよう



ものしりコーナー

どうやって紙はできるのかな？



こうそ楮

材料の楮をむして黒皮をむきます。



黒皮をけずり白皮にします。



白皮をにます。



白皮とネリを水にまぜて、けたす桁と簾で漉きます。干し板にはって乾くとできあがり。



白皮をたたいて繊維にします。

紙の店2階に、紙の作り方が展示してあるわ。



ぼうそう 房総のむら 《かずさ 上総・しもうさ 下総・あわ のうか 安房の農家、きゅうみ 旧御子神家、こがみけ 旧平野家住宅》 ひらの 旧平野家住宅

農家のくらしをしらべよう

えどじだい 江戸時代の農家には、あめ いえ 雨でも家の中で仕事ができる土間や、
家の前に さくもつ 作物が干せる ほ 前庭など 広い 仕事場 がありました。
むかし 道具 昔の道具をたくさん 見つけて、
どのようなくらしや仕事をしていたか、しらべよう。

上総の農家



江戸時代の名主クラスの農家を再現しています。
住みこみの使用人もいて、作物をたくさん作っていました。

道具から、昔と今のくらしを比べてみよう。

家の中に入ると、床が土のままの大きな部屋があります。ここは「土間」といって、ご飯を作ったり、わらで縄やわらじを作ったり、いろいろなことに使われていました。

かまどにはご飯をたいたお釜や、そばには燃料の薪や木の枝もあります。

かまどの後ろには、大きな水甕や、しょうゆだる、みそ甕があります。井戸から水をくんでおいたり、しょうゆやみそは家ごとで作っていたので、それぞれ大きな甕やたるが必要でした。



かべには、蓑やすげがさなど、雨よけ・日よけ道具などがかかっています。これも家ごとで、わらや竹で作っていました。



しりべよう

のう さぎょう 農作業の道具をさがそう



前庭のまわりには、馬小屋や燃料の薪や炭をしまう木小屋の他、農機具をしまう納屋があります。



いろいろな道具があるね。農作業を効率よくするため、工夫されているね。

納屋のかべには、田や畑をたがやすくわ 鋤や万能、床には鉄の櫛に稲をとおして 粉をひきおとす 干歯こきなどがあります。



粉を風のかぜの力で、重いけんまいと軽い粉がらにわける 唐箕です。ハンドルをまわすと風が吹きます。

なわ 「縄ない」をやってみよう

たいけんしよう



事前に予約して、体験しよう。

米や麦などを収穫した後に残るわらは、いろいろな道具の材料や、馬のえさにもなる、とても大切なものでした。数本のわらを撚りながら組んでいく「縄ない」をやってみよう。



わらをたたいて、柔らかくします。



2束のわらを手の中てころがしながらよじって、縄をないます。



できあがり

お米を収穫した後に残るわらも、大切に使うのね。



しりべよう

わらや縄を使った道具をさがそう



わらで編んだおひつ入れです。ご飯が冷めないように、おひつをこの中にいれました。

家や小屋の中から屋根を見上げると、木や竹を結んでいる縄がみえるよ。



ぼうそう 房総のむら 《武家屋敷》
ぶ け や し き

武士のくらしをしらべよう

え ど じ だ い 江戸時代の武士は、
しょうぐん だ い み よ う 将軍・大名から
ちゅうげん こもの 中間・小者まで

おお み ぶ ん 多くの身分にわかれ、
しゅく ん つ と 主君に勤めて、
りょうち ほん ろ く 領地やお米などの俸禄をもらい、
くらし て い ま し た 。 くらしていました。

身分ごとに決められた格式や礼儀を重んじた武士のくらしをしらべよう。

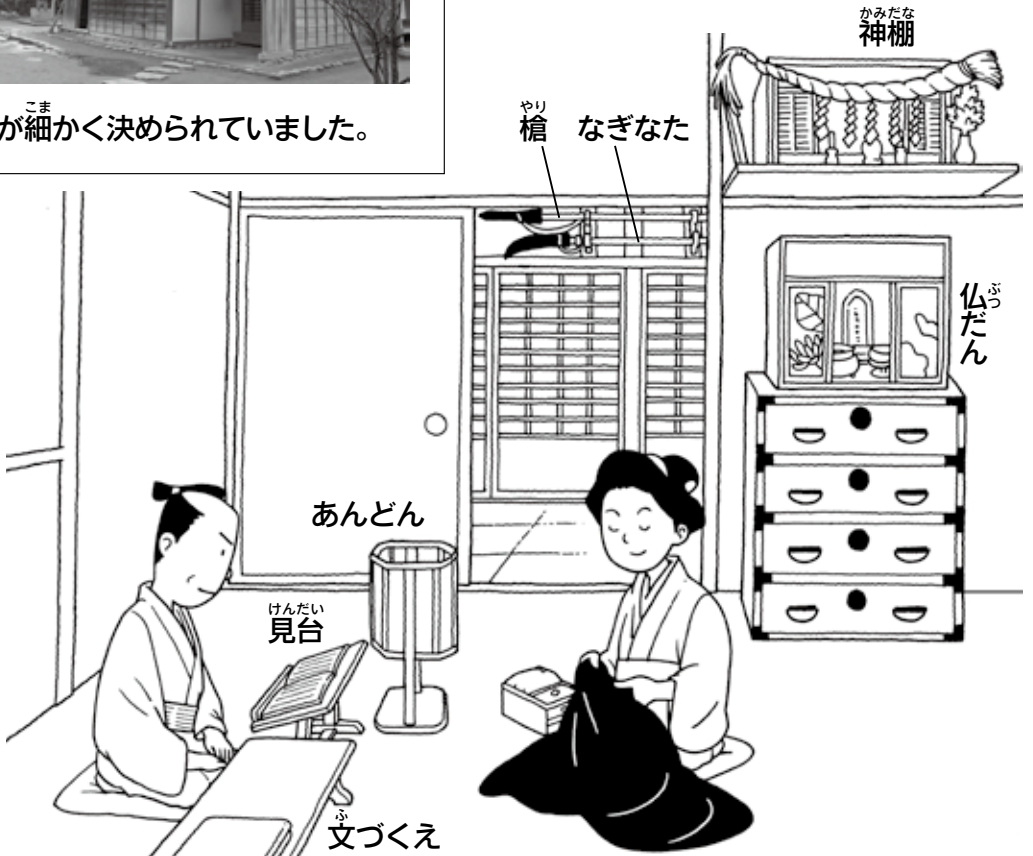
武家屋敷

さくらばん ちゅうぎゅう 佐倉藩中級武士の
屋敷を再現しています。
とのさま から あた 殿様から与えら
れた屋敷で、身分に
よって ひろ さ や 門構え などが細かく決められていました。



ぶ げ い ぶ ぎ 武芸・学問・礼儀作法を
がくもん さ ほう 重んじたくらしを
見てみよう。

武士は城などへの勤
めのほか、屋敷でも学
問や武芸を学びました。
礼儀作法を身につけ、
きょうよう さいどう のう 教養として茶道や能、
はな わ か 華、和歌などをたしな
むことも大事でした。
ざしき かな やり 座敷には刀や槍など
の武具が、居間には読
み書きの道具が置かれ
ています。



む だ は て 無駄や派手をはぶいて、
しっ そ けん や く 質素儉約につとめたくらしを見てみよう

しらべよう

たいけんしよう

茶道をやってみよう



武士は、身分に
お う け ら い 応じて家来を
かかえなければならな
か っ た の で 、 せ い か つ くら 生活は苦しかったよう
で す 。 敷地に畑を作ったりして、
し き ち は た け 質素儉約につとめていました。



お茶のいただき方と
ちや ちゃしつ 茶室の礼儀作法を学
びます。
ま な 事前に予約を申し込
し ぜん よ や く ん で、体験しよう。

ぼうそう さかた が いけそうこうこうえん こんちゅうかん ちょう せいたいかん
房総のむら・坂田ヶ池総合公園・昆虫館・蝶の生態館

さとやま しざん たの
里山の自然を楽しもう

のうぎよう むす ろうきばやし
農業などの人の生活に結びついたアカマツ林や雑木林のことを里山といいます。

ばっさい おちば いじ
伐採や落葉かきなどをして、林は維持されてきました。

ある かんさつ
里山を歩いて、自然を観察しよう。

里山の自然



きちよう
貴重なアカマツ林

アカマツは本来、急な山などに生えますが、
下総台地にも植林されてきました。枝が折れ
やすく火力も強いので、薪や炭にして利用さ
れてきました。

最近では松枯れ病により、房総のむらほどの
アカマツ林は、県内では他に見られなくなり
ました。アカマツの樹液をエサにする絶滅危
惧種のハルゼミも生息しています。



しずく

四季の自然観察を楽しもう



はる
春

やちよう
野鳥のさえずり、若い植物の香
りなど、五感で楽しもう。



なつ
夏

林の中で、さかんに活動してい
るトンボやチョウなどを探そう。



あき
秋

落ち葉や木の実を持ち帰ってオ
ブジェ作りも楽しいよ。



ふゆ
冬

静かな林も生命は息づいています。カマキ
リの卵など生き物の冬越しを観察しよう。

近見学のポイント



坂田ヶ池総合公園

池に育つ植物や、集まってくる
野鳥や昆虫を観察しよう。

成田西陵高等学校

昆虫館・蝶の生態館

「昆虫館」は500種以上の標本
や生きた昆虫に触ることができ
るよ。「蝶の生態館」
では、沖縄島の蝶
を中心に10種類以
上観察できるよ。



ぼうそう ふうどき おかしりょうかん ふくげんたてあなじゅうきよ りゅうかくじ こふんぐん
房総のむら 《風土記の丘資料館・復元竪穴住居・龍角寺古墳群》・龍角寺

遺跡から歴史をさぐろう

ちばけんない はっけん こうこしりょう
風土記の丘資料館では、千葉県内から発見された考古資料から、
かくじだい
各時代のくらしがたどれます。

けんがく なが なが かん
竪穴住居や古墳群とあわせて見学して、長い歴史の流れを感じてみよう。

風土記の丘資料館



歴史をたどってみよう

やく
今から約20万年前の
ナウマンゾウです。その
にほんれっとう たいりく じ
ころ日本列島は大陸と地
つづ
続きの時があり、大形の
どうぶつ
動物がすんでいました。



旧石器時代の狩りの道具をさがそう



しらべよう

きゅうせつぎ
今から約1万5千年前の、石を
うちかいて作った、尖った先端
をもつ打製石器です。人はこ
うした道具を使って狩りをし、
しよくぶつ
植物をとってくらしていました。



縄文時代の土器のもようをさがそう

じょうもん どき
今から約1万年前、土器をつくり始め
て、木のみや動物の肉などを煮て食
べるようになりました。



田んぼで稲を作りはじめた弥生時代の道具をさがそう



こめ
米作りの
木の道具も
あるわ。



きげんぜん せいきころ たいりく きんぞくき もくせいのおく つた
紀元前4世紀頃、大陸から金属器、木製農具が伝わり、田んぼで稲を作りはじめました。弥生時代の人は、
じめん ほ さ はしら やね ゆか
地面を掘り下げ、柱を立てて屋根を葺いた竪穴住居にくらしていました。床には炉があって、薪を燃やして、
ごはん
ご飯を作ったり、暖をとっていました。



しるべおや 古墳時代の大きな墓におさめたものをさがそう



3世紀後半、大和朝廷という強力な国が生まれると、各地で前方後円墳などの大きな古墳が造られました。古墳には、いろいろな形の埴輪がおかれたり、内部の棺には死者とともに、鏡などの祭りの道具や、鉄製の武器や工具などがおさめられました。



古墳は豪族の墓だよ。資料館のまわりにたくさんあるよ。このあたりに豪族がいたことがわかるね。

龍角寺古墳群・岩屋古墳(国史跡)をまわろう



風土記の丘資料館周辺には115基からなる龍角寺古墳群があります。千葉県で最も大きな古墳群です。この中には、一辺約80m、高さ約13mもある岩屋古墳(7世紀前半)があります。



古墳群は国史跡に指定され、保護されています。

龍角寺のご本尊は、等身大に近い像としては、東日本で最も古い仏様だよ。



近くの見学ポイント

龍角寺

6世紀の半ば、日本に仏教が伝わると、都では、仏教を中心とした飛鳥文化が栄えました。岩屋古墳を造った豪族がいたこの地域でも、7世紀後半にいち早く寺院を造りました。龍角寺は、現在の千葉県内で最も古い寺院です。風土記の丘資料館から片道約20分ほどの距離です。



たいけんしよう 火おこし・勾玉づくりに挑戦しよう

もみぎり式やまいぎり式の火おこしや、滑石をけずって勾玉を作る団体体験を行っています。事前に予約申し込みをして、体験してください。



いんばすいもん きじょう てつかせんぼうさい
印旛水門・印旛機場・出津河川防災ステーション

とねがれ むま おおみず ちすい まな
利根川・印旛沼の大水と治水を学ぼう

利根川・印旛沼周辺の田んぼの多くは、江戸時代以降に開発された新田です。
大雨による川や沼の氾濫により、たびたび大きな被害を受けてきました。長い年月をかけて造られた治水の仕組みや設備を見学して、治水の願いを学びましょう。

どくりつぎょうせいほうじんみずしげんきこうちばようすいそうごうかんりじよ
独立行政法人水資源機構千葉用水総管理所のホームページを参考にしよう！
<http://www.water.go.jp/kanto/chiba/index.html>

利根川・印旛沼



むかし
昔、川や沼が氾濫して大きな被害を受けました

江戸時代、利根川や印旛沼は、江戸と各地を結んで、米や特産品などを舟で運ぶ、交通の大動脈でした。でも大雨が降ると、利根川も印旛沼も氾濫して、田んぼも家も大きな被害を受けてきました。



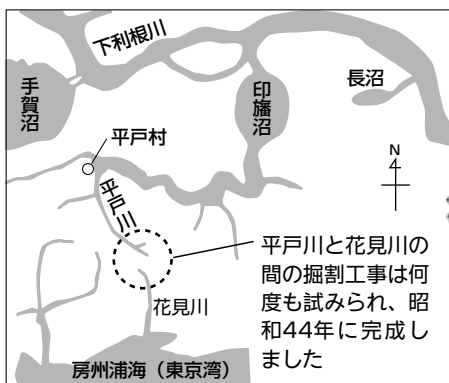
昭和33年水害のようす
(栄町酒直南部地区)

印旛沼の氾濫をなくそうとした染谷源右衛門

ものしりコーナー



今から約280年前、平戸村(現在の八千代市)の染谷源右衛門は、平戸川と花見川の間を約16km掘ってつないで、印旛沼の水を江戸湾に流して、氾濫をなくし、新田を開発しようとしてきました。でも大変な工事で、成功しませんでした。しかしその後も江戸幕府や国によって、何度も工事が行われ、昭和44年についに完成しました。

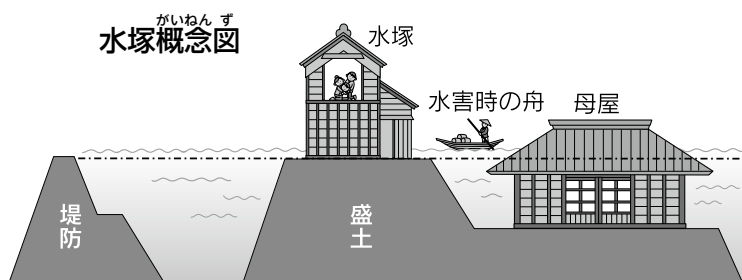


約220年前の「下総国印旛沼御普請掘割絵図」をもとにした地形図を使用しています



ものしりコーナー

水害にそなえた水塚

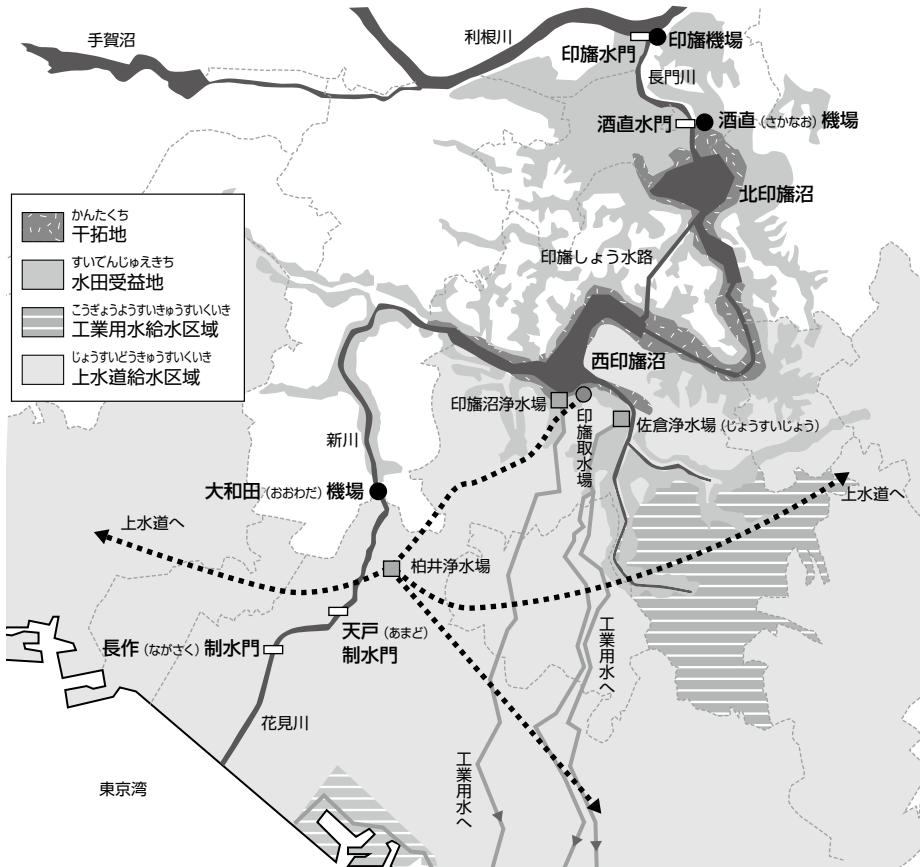


利根川・印旛沼周辺には、ふだんくらす家のとなりを2m程高くして、もうひとつ家を作ったお宅が多くあります。氾濫でふだんくらす家が水につかった時に、水がひくまでくらす水塚と呼ばれるものです。





現在、印旛沼は利根川・東京湾とつながり、その間の4つの水門と3つの機場によって水量を管理し、大雨による氾濫をふせいでいます。印旛沼の水は、水道や農業・工業に広く利用されています。

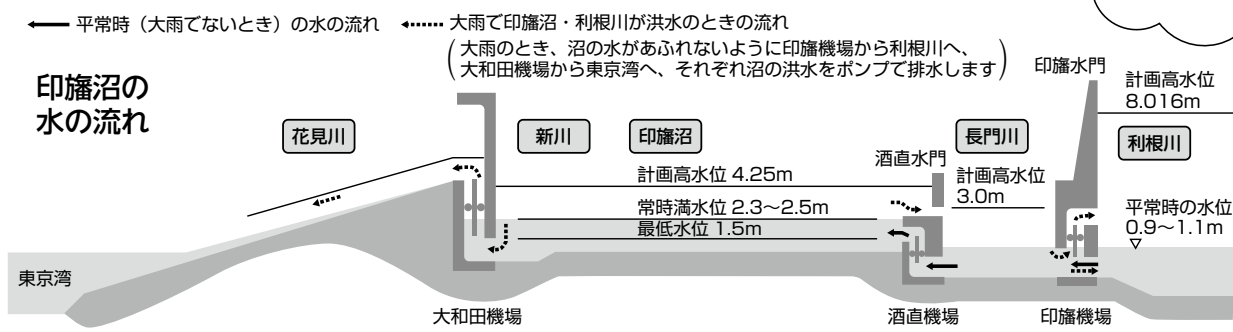


沼の水が少なくなると、水門をあけて、利根川の水を沼に流します。



印旛機場の中のように沼の水が多くなると、機場のポンプを動かして、利根川に水を流します。

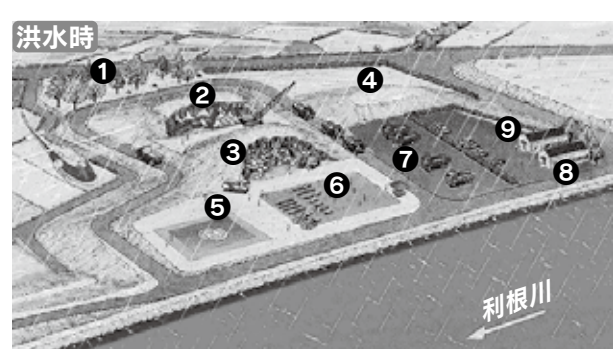
大きな水門ね。ポンプもいっぱいあるわ。



万が一の氾濫に備えよう 〈出津河川防災ステーション〉 ものしりコーナー

万が一の氾濫のとき、被害をふせぐ水防活動の基地になります。人命救助のヘリポートや水防の機材などが備えられています。周辺市町村の水防団は、訓練をおこない、万が一の氾濫に備えています。

①の木は水防資材に利用します。②③④には堤防がこわれた時に使うコンクリートブロックや石、砂があります。⑤はヘリポート、⑥は水防団の活動場所、⑦は大型車が方向転換する場所、⑧は緊急時の現地対策本部、⑨は水防用具を入れた倉庫です。



けんがく かいとう
「見学ワークシート」の回答

問1 まち
町なみ

- ①本^{ほん}……㊸ ②お茶^{ちや}……㊹ ③茶わん……㊺ ④薬^{くすり}……㊻

問2 みせ
お店の中……②

問3 ぶ け や し き
武家屋敷

- 左上の部屋^{へや}（居間^{いま}）……③ 右上の部屋^{ざしき}（座敷）……①
左下の部屋^{かって}（勝手）……②

問4 かず さ の う か
上総の農家……②

問5 いりぐち
ムラの入口

- 左から3番目^{わざわ}（災いをはねのける）……えび
左から6番目^{こわ}（足がたくさんあることから怖がらせる）……たこ

問6 すいしゃ こ や
水車小屋……①



参考：サツパ船

問7 しもうさ
下総の農家……舟（サツパ船）

問8 あ わ
安房の農家……トイレ

問9 く
森や野の暮らす生き物……（省略）

問10 ふくげんたてあなじゅうきょ
復元竪穴住居

- 弥生時代の竪穴住居……^ろ炉 古墳時代の竪穴住居……^{こふん}カマド

問11 ふ ど き おかしりょうかん
風土記の丘資料館

- アクセサリー ▶ ^{まがたま}勾玉・^{くだたま}管玉・^{いしくしろ}石釧・^{どうくしろ}銅釧・^{じかん}耳環・^{きりこだま}切子玉・^{うすだま}白玉など
戦いの道具 ▶ ^{たか}大刀・^{たつぞく}鉄鍬・^{たんこう}短甲・^{しょうかくつきかぶと}衝角付冑など
お祭り・儀式の道具 ▶ ^{かがみ}鏡・^{いしまくら}石枕・^{りっか}立花・^{せきせいも}石製模造品など
農具・工具・馬具 ▶ ^{てつおの}鉄斧・^{かま}ヤリガンナ・^{どうす}鎌・^{くわさき}刀子・^{きょうよう}鍬先などの農具・工具
^{ぎょうよう}杏葉・^{くつわ}轡・^{つぼあぶみ}壺鐙などの馬具など

問12 りゅうかくじ こふんぐん
龍角寺古墳群

- （資料館を見学した場合の答え）……^{ばあい}馬・^{じんぶつ}犬・人物・鳥
（101号墳を見学した場合の答え）……馬・犬・人物・家・鳥・イノシシ

本冊子作成にご協力をいただいた機関（敬称略）

国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所・栄町教育委員会・栄町立酒直小学校・千葉県教育委員会・千葉県立中央博物館大利根分館・千葉県立成田西陵高等学校・独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所・成田市・八千代市教育委員会・龍角寺

初版 平成21年3月
二版 平成22年3月
三版 平成30年8月